



樹種	種類	胸高直径	樹高	本数	材積	備考
6: 過去の施業経過						
7 その他 生育中庸, 植生は雑かん木						

記入要領

- 1 指標林の名称は植栽樹種名を記入する。
- 2 設定目的及び選定理由は市場価格の高い林木の間伐、経費節減に配慮した間伐等と記入、選定理由は選定した理由を記入する。
- 3 設定箇所の現況は林況以外森林調査簿等より記入する。
- 4 樹種・胸高直径・樹高等内訳は現地調査野帳を集計して記入する。
- 5 伐採指定量・伐採指定率は現行施業計画の間伐指定量・率を記入する。
- 6 過去の施業経過は枝打ち、間伐の実行年度、間伐量を林班沿革簿等より可能な範囲で記入する。
- 7 本表のとりまとめに当たって樹種、種類ごとの単位以下の端数処理は必要ない。
- 8 その他欄には設定箇所付近の林分の現況、生育状況等を記入するとともに、設定箇所の下層植生、地理的条件等を記入する。

別表 2 間伐実行施業経過 (N03)

伊那営林署

林小班	311は	伐採面積	2.83	伐採材積	135㎡	間伐率	23%										
調査年月	60年9月19日～	年	月	日	立木販売・製品生産資材別	立木	製品(直請)	調査員	(技)花村 健治								
搬出計画	集材の方法及び距離	集材機	400m	トラック運搬距離(山元～市場)	11.9km												
販売年月日又は資材払出し年月日	61年11月20日	搬出期間	61年12月22日～62年7月15日														
㎡当たり販売単価	1,609円	(ヒノキが約35%含まれていること。ヒノキ間伐(3115)と一括販売したため単価があがった)															
間伐木(経常)						伐採・搬出支障木						計					
樹種	種類	胸高直径	樹高	本数	材積	樹種	種類	胸高直径	樹高	本数	材積	樹種	種類	胸高直径	樹高	本数	材積
ヒノキ	生立	12~24	11~17	356	47	ヒノキ		12~26	10~14	8	2	ヒノキ				364	49
アカマツ		16~26	10~12	6	1							アカマツ				6	1
カラマツ		12~26	13~19	399	71	カラマツ		18~34	14~15	4	1	カラマツ				403	72
ウラジロモミ		22	13	1	0.3							ウラジロモミ				1	0.3
クリ		20~28	12~15	4	1											4	1
その他L		20~36	12~16	5	2.4	その他L				1	0.3					6	2.4
一般材計				771	122.7	一般材計				13	3.3					784	126.0
その他N		6~20	7~17	211	12	その他N		10~12	6~11	3	0.1					214	12.1
その他L		12~22	9~12	12	1	その他L		14~20	11~15	5	0.6					17	1.6
パルプ計				223	13	パルプ計				8	0.7						13.7
計				994	135.7					21	4					1,015	139.7
記入要領																	

- 1 経常の間伐と伐採搬出支障木に区分して記入する。ただし伐採搬出支障木は当該指標林区域内のみ記入する。
- 2 間伐木(経常)伐採搬出支障木は、伐採材積の内訳を収穫野帳を集計して記入する。なお、収穫調査野帳は複写して添付する。

# 人工林間伐推進指標林成長推移記録

伊那営林署

NO1

調査年月日 年 月 日							調査担当者													
林小班 311は 面積 2.83ha							プロットNO 面積 0.44ha													
H元年12月21日 調							H 4年11月13日 調						H 7年11月30日 調							
樹種	種類	胸高直径	樹高	本数	材積	備考	樹種	種類	胸高直径	樹高	本数	材積	備考	樹種	種類	胸高直径	樹高	本数	材積	備考
カラマツ	生	6		1			カラマツ	生	8		2			カラマツ	生	10		12		
		8		15					10		24					12		48		
		10		39					12		68					14		87		
		12		83					14		101					16		79		
		14		117					16		83					18		68		
		16		83					18		81					20		64		
		18		77					20		73					22		45		
		20		60					22		32					24		32		
		22		27					24		16					26		13		
		24		13					26		9					28		6		
		26		10					28		3					30		6		
		28		1			小計				492			小計				460		
小計				528			カラマツ	被	8		1			カラマツ	被	8		1		
カラマツ	枯			37			カラマツ	枯	6		1			カラマツ	枯	8		2		
カンバ		18		1					8		11					10		12		
ク	リ	14		1					10		13					12		11		
				565					12		4					14		6		
合計									14		2			小計				31		
									16		2			カンバ		18		1		

※ 備考欄には、種類、本数等に変化があった場合にその理由（枯損、転倒、挫折等）及び下層植生状況を簡明に記入する。

# 人工林間伐推進指標林成長推移記録

伊那営林署

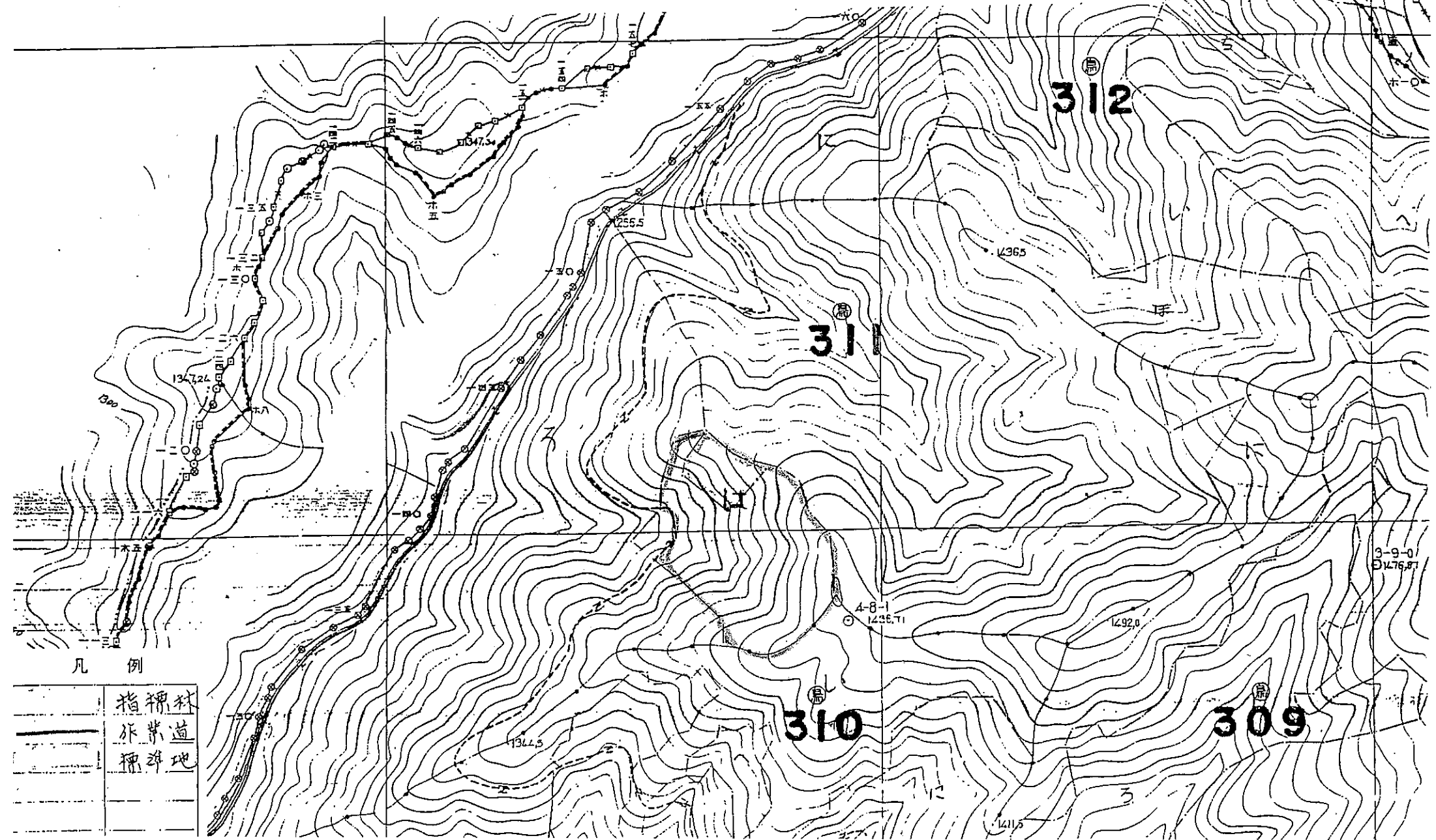
NO2

年 月 日 調							H4 年11月13日 調							H7 年11月10日 調							
樹種	種	類	樹高	本数	材積	備考	樹種	種	類	樹高	本数	材積	備考	樹種	種	類	樹高	本数	材積	備考	
							小計				33			ク	リ		16		1		
							カンバ		18		1			合	計				493		
							ク	リ	14		1										
							合	計			528										
平均			8~26						10~26								10~30				
カラマツ			15.5						16.4								17.5				

※ 備考欄には、種類、本数等に変化があった場合にその理由（枯損、転倒、挫折等）及び下層植生状況を簡明に記入する。

# カラマツ人工林間伐推進指標林位置図

伊那 311は 2.83 ha



凡例

	指標林
	採道
	標地

施業指標林・展示林設定一覧表

長野営林局 8.9.1

区分	名称	設定目的	位置		面積 (ha)	林況 (人・天別, 樹種, 林齢)	設定年	調査及び普及実績等
			営林署	林小班				
展示林	1 巢鷹山スギ耐雪性系統別試験	系統別比較	飯山	128ほ	2.60	人工林 スギ	H5	
	2 北の入	"	"	135か	1.40	"	"	
	3 黒姫山カラマツ施肥試験	施肥比較	長野	17へ	0.96	カラマツ	"	
	4 "	"	"	19へ	0.88	" "	"	
	5 戸隠森林植物園		"	46ほち	64.26	天然林	46	
	6 浅間山カラマツ優良人工林	高齢人工林	岩村田	21と	1.25	人工林 カラマツ	44	
	7 浅間山ヒノキ・カラマツ二段林	"	"	25と	9.77	" ヒノキ・カラマツ	34	
	8 浅間山カラマツ系統別比較	"	"	30ち	2.54	" "	"	
	9 浅間山カラマツ精英樹クローン	採種圃補充用	"	44つち45ほ	38.10	" カラマツ集植	59	
	10 白馬山スギ耐雪性系統別試験	系統別比較	松本	624の	1.98	"スギ	H5	
	11 小川入ヒノキ精英樹系統苗	精英樹毎の実生大苗を植え付けし生長比較	王滝	930へ 1.2	1.00	"ヒノキ 17年生	52	
	12 殿ヒノキ精英樹系統苗	"	野尻	19ほ	1.13	" 24年生	44	
	13 阿寺ヒノキ優良人工林	人工林ヒノキ優良林分	"	83へ	0.20	" 99年生	56	
	14 天王洞ヒノキ高齢優良人工林	" 高齢優良林分	"	253ほ	0.84	" 106年生	H4	
	計	14ヶ所			126.91			